

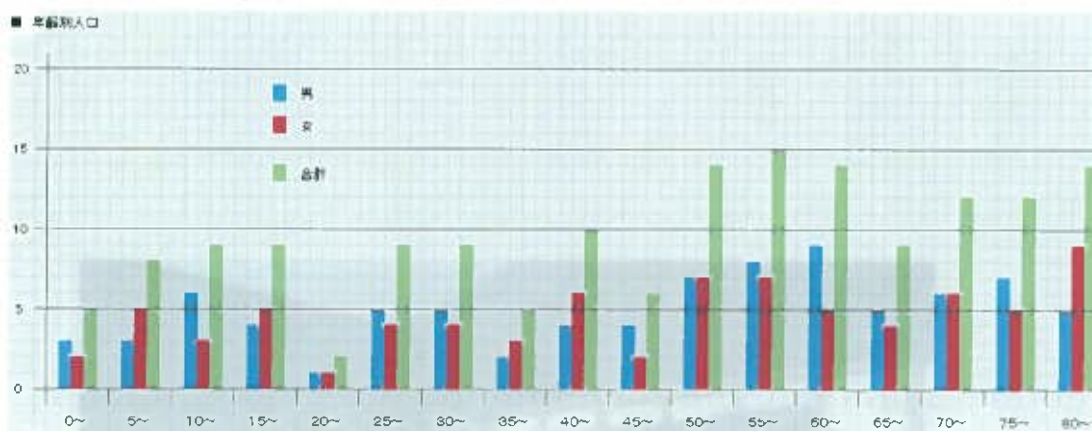
瀬地区地域づくり計画書



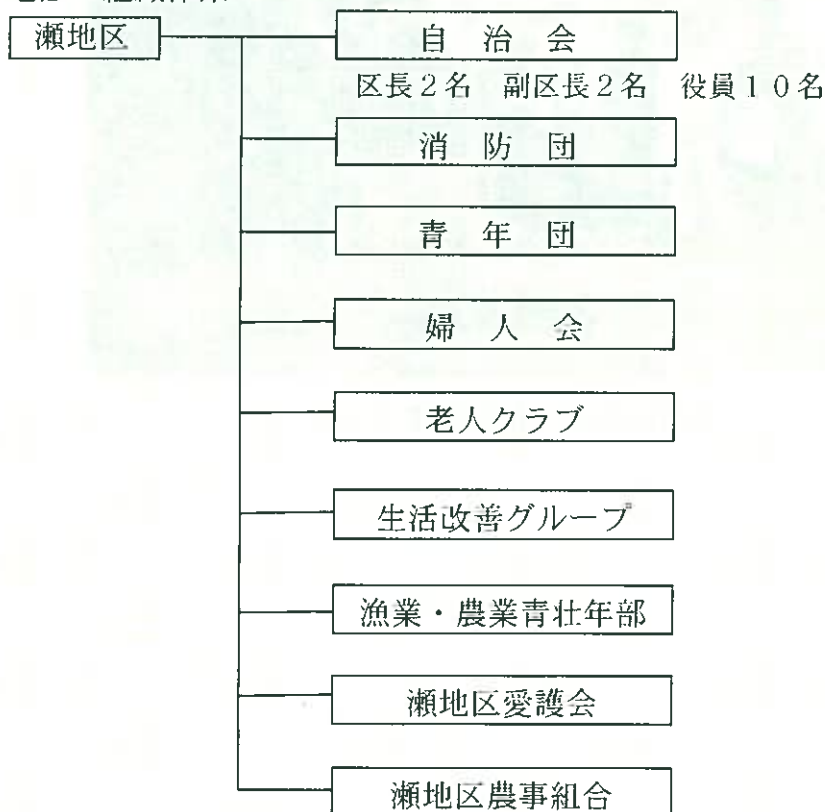
瀬地区環境美化循環事業より

1. 地区の現状

瀬（豆殿瀬・佐須瀬）地区は、旧巖原町の西海岸に位置し、瀬浦に面する55世帯、人口約160名の地域で、概ね第1次産業（農業・漁業）が主な基幹産業である。農業（稲栽培）に限れば、耕作の放棄されている田んぼは、他地区と比べて少なく、ほとんどの田んぼが耕作されている。その理由として、当地区は、各家の跡取りが、家業若しくは、外の職種について、地元に残っている状況だからである。人口の減少も少なく、他地区と比べると活気がある。年齢別人口を見ると、下表に示すとおり、高齢率も24.2%と低く、各世帯の働きがしらである20代から50代までの年齢層が、全体人口の43%を占め、また平均年齢も47.8歳である。



2. 地区の組織体系



3. 地区の主な活動

- 4月 地区・婦人会・子供育成会総会
- 5月 地区内清掃（一斉駆除）
- 7月 学校跡地（グラウンド）整備
- 8月 農民研修センター清掃
- 9月 地区敬老会
- 10月 お寺・神社の清掃
- 11月 区民ゲートボール大会
- 3月 監査・決算総会
- *毎月中旬 役員会
- *年間随時 環境美化循環事業（EM活性液活用）
- 《地区の伝統行事》
- 花祭り
- 春祭り
- 亥の子

4. 地区の課題・問題点

地域の自己診断票

項目	調査内容	現 状		摘要（場所や内容など）
		（該当するものに○印）		
防災 防犯	防災、防犯体制は整っているか。	いない	○いる	
	防火水槽又は消火栓等は整っているか。	いない	○いる	
	災害時の報知（サイレン等）は整っているか	いない	○いる	
	古井戸、池、用排水路、道路側溝など安全のための設備（柵、蓋、照明、看板など）が設けられているか。	いない	○いる	
	夜間、暗い所に防犯灯は設けられているか。	いない	○いる	
	雨が降ると水に浸かりやすい住まいはないか。	○ある	ない	瀬橋付近
	崖崩れや落石の危険にさらされている住まいはないか。	ある	○ない	

	災害の危険性がある時、非難する場所はあるか。	ある	ない	
道路	見通しが悪くて危険を感じているところはないか。	ある	ない	県道瀬浦巖原港線瀬配水池付近
	道幅が狭く、危険を感じているところはないか。	ある	ない	
	車の通行量が多く、かつ歩道が無い為危険を感じているところはないか。	ある	ない	
	カーブミラー、交通標識等は必要に応じて設置されているか。	いない	いる	
	地域内道路で段差があって、高齢者や障害者等に危険と思われるところはないか	ある	ない	
こどもの遊び場	子どもたちが自然とふれあえる場所、あるいは土の上で遊べる遊び場はあるか。	ない	ある	
	遊び場は、大人の目が届く状態になっているか。	いない	いる	
	遊び場は、子どもが安全に往復できるところはあるか	ない	ある	
健康生活	健康を守るための食生活等についての勉強会を計画的に行っているか。	いない	いる	
	体力づくりのため、体力測定、スポーツ教室、スポーツ活動などを計画的に行っているか。	いない	いる	
	気楽に楽しめる軽スポーツや催し物ができる広場が近い場所にあるか。	ない	ある	
	健康を守るための「家庭の日」や「農休日」が設けられているか。	いない	いる	
	休養や睡眠を妨げる騒音や振動、悪臭などはないか。	ある	ない	
環境・衛生	道ばた、河川、山林、空き地などにゴミ、空き缶などが捨てられないか。	いる	いない	
	ペットの糞などがよく捨てられてい	ある	ない	

	る道ばた、公園、山林、空き地などはないか。			
	道路、側溝、集会施設、花壇などは、時期を決めて、一斉に清掃作業が行われているか。	いない	いる	
	生活排水が、直接、道路、耕地、用水路、河川などに流されているところはないか。	ある	ない	
	河川などにゴミなどがたまりやすい所はないか。	ある	ない	
	雑草が生えているところはないか	ある	ない	
	汚水、汚物、ばい煙、ガス、粉塵、有害廃棄物など、企業排出物による被害はないか。	ある	ない	
	将来に残しておきたい自然（山、河川、景観地、珍しい動植物）があるか	ない	ある	
	地域内美化のため、花づくりや緑化活動などが行われ、整備されているか。	いない	いる	
生活慣習 ・ 相互扶助	共同給水施設（上水道、簡易水道、小規模水道など）が設けられているか	いない	いる	
	通勤、通学、買物、などにバス等の便があるか。	ない	ある	
	食料品、雑貨など日常生活に間に合う程度の商店があるか（概ね2～3km）	ない	ある	
	病院、医院があるか（車で30分以内）	ない	ある	
	冠婚葬祭の合理化について、申し合わせがなされているか。	いない	いる	
	日常の付き合いやしきたりの中で、住みにくさについて改善の話し合いや申し合わせがなされているか。	いない	いる	

	集合時間の厳守、会合や共同作業への出席敢行、あいさつ敢行などの申し合わせがなされているか。	いない	いる	
	祝儀、葬儀、病気、事故、災害などの手伝いや見舞い、作業の手伝い、留守中の子供や高齢者の世話などの申し合わせがなされているか。	いない	いる	
娯楽・文化	会議、娯楽、催し物など多目的に利用できる施設があるか。	ない	ある	
	簡単な会議や集会など、人々が集まる施設が身近にあるか。	ない	ある	
	みんなで楽しめる祭り、盆踊り、運動会などの行事が、住民の賛同を得て計画されているか。	いない	いる	
	ふるさとの歴史、芸術、芸能、物財などの掘り起こし、保存、伝承などが行われているか。	いない	いる	
	新しい文化の創造が行われているか。	いない	いる	
	寺社、名所旧跡、名物名産、人材、物財など、自慢できるものがあるか。	ない	ある	
	名所旧跡、物財などの管理、清掃などが行われているか。	いない	いる	
住民活動・自治活動	婦人会、青年組織、子供会、老人会などがあり、計画的に活動しているか。	いない	いる	
	生産や生活に関する集団や組織があり、計画的に活動しているか。	いない	いる	
	趣味の会、同好会などがあり、計画的に活動しているか	いない	いる	
	住民への連絡事項は速やかに伝えられているか。	いない	いる	
	自治会の運営が円滑になされているか。	いない	いる	
	地域の暮らしを高める活動が行われているか。	いない	いる	

年間予算が編成され、計画的に運営されているか。	いない	いる	
平素の暮らしで困ったことを、地域で解決する仕組みが作られているか。	いない	いる	
自治会活動に、子ども、青年、女性、高齢者など戸主以外の意見が反映できる仕組みになっているか。	いない	いる	
役員等の世代交代が進んでいるか。	いない	いる	
単なる要望団体ではなく、地域のことは地域で解決するという基本的姿勢は浸透しているか。	いない	いる	
他の地域や組織等と共同した活動を行ったり、話し合う仕組みができていますか。	いない	いる	

5. 地域づくりの基本計画

基本計画① 環境美化を目指す地域づくり

(具体的な事業計画)

○地域内の側溝・排水路及び河川・漁港へのEMダンゴの投入

【事業の目的及び内容】

平成24年度において対馬市地域づくり応援事業補助金により備品としてミキサーを購入し、EMボカシ・ダンゴを容易にまた、大量に作成することが可能となった。

浄化槽があまり普及していないこの地域で、側溝・各家庭の排水路にEMダンゴを投入し、家庭排水の浄化を図る。

また、平成24年度長崎県の事業で2級河川である瀬川の水辺づくり事業として護岸の整備が施工される予定である。(事業平面図参照)側溝だけに限らず、河川にも投入し瀬川の美しい環境を未来へ引き継いでいくため、また子供からお年寄りまでコミュニケーションを図り価値観を共有し、地域の活動として環境美化に取り組む。



基本計画② 生ゴミの減少を目指す地域づくり
(具体的な事業計画)

- 生ゴミの堆肥化を図り、クリーンセンターへの搬入量を減らす。

【事業の目的及び内容】

地域づくり応援事業補助金により購入したミキサーで、EMボカシが容易に、かつ大量に作成できるようになったことにより、生ごみの堆肥化を図るため、生ごみバケツを各家庭の畑へ設置し、EMボカシを加え、生ごみを畑に返すことで、地区として生ごみの循環に取り組む。

また、生ごみを土に返すことで、クリーンセンターへの生ごみの搬入量を減少させ、当センターの負荷量については、CO₂の削減を図る。

基本計画③ 美しい農村風景のある地域づくり
(具体的な事業計画)

- 田畑の耕作放棄地の再生を地域ぐるみで取り組む。

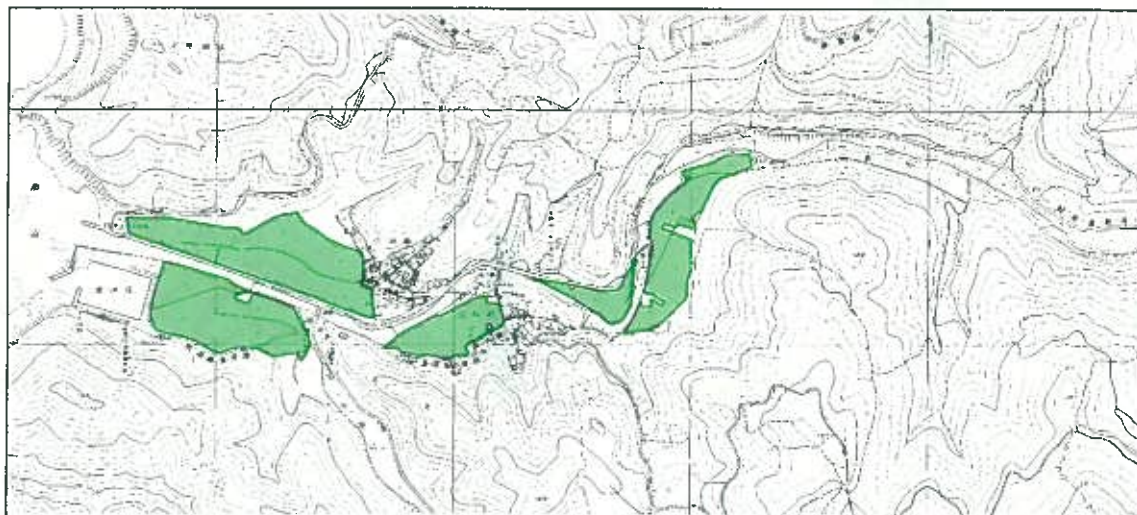
【事業の目的及び内容】

当地区の集落周辺の田畑の耕作放棄地は、21反程度である。この荒廃した田畑を地域で再生し耕作者を募る。

現在、下図に示すとおり、約1町3反を地域で再生し、1町1反につ

いては、既に耕作がなされている。残る荒廃田畑8反程度についても、地域ぐるみで再生を図り、耕作者を募り耕作放棄地をなくし、美しい農村風景を取り戻す。

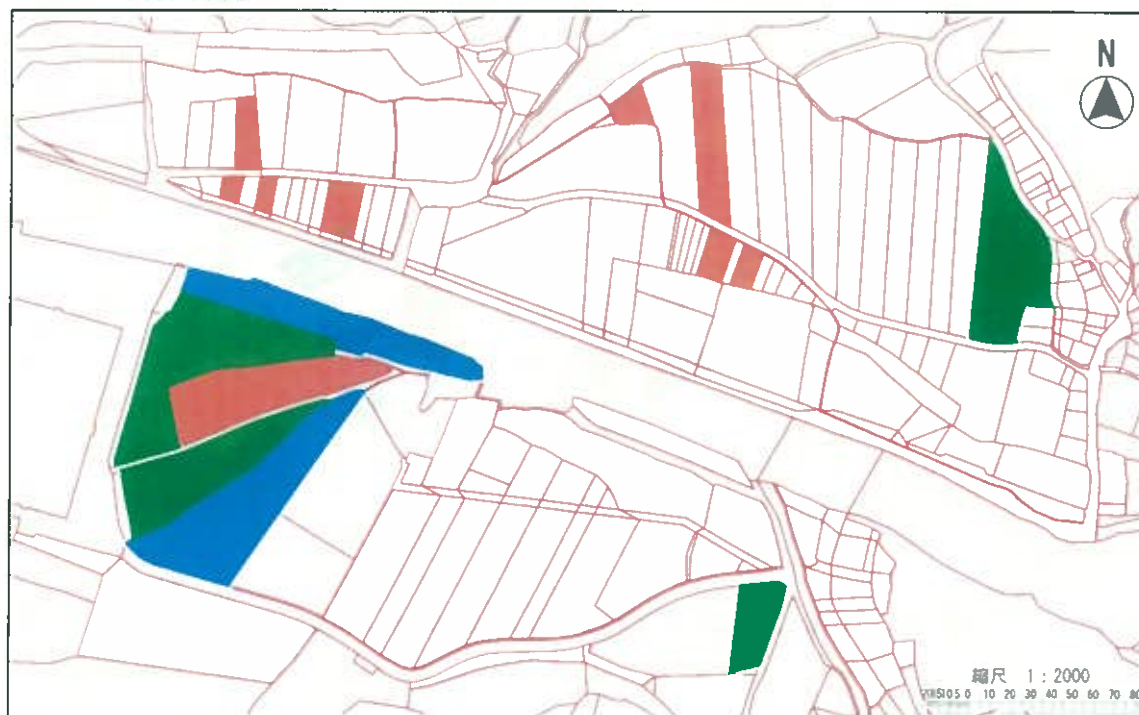
【耕作地全図】



(凡例)

■ 耕作再開地 ■ 耕作準備地 ■ 耕作再開予定地

【位置図①・②】



【位置図③】



【位置図④・⑤】



6. 地区集会所（避難施設）建設の重要性

（1）現状

「瀬地区農民研修センター」は、建築後約50年経過し老朽化が著しく、また、海拔約6mの非常に低い土地に位置しているため、大雨の際は浸水している状況である。さらに、万が一が起こりうる津波等を考慮すると、区民の避難場所としては機能しない現状である。

（2）今後の利用計画

平成24年までの活動状況は、別紙参考資料のとおり、かなり活発なコミュニティ活動を行っている。

今後の利用計画については、今回作成した「地域づくり計画」の基本計画に示すとおり大きく3つの項目を掲げており、従来の活動に加え、主に環境に配慮した地域づくりを推進するものであり、側溝・排水路の整備、EMダンゴによる河川等の美化及び生ごみの堆肥化による生ごみ搬出の減少を図る。

さらに、地域ぐるみの活動のためには、地域が一つになることが重要であるため、子供から高齢者共々参加できるような事業の組み立てにしたり、地区の高齢者による伝統文化の継承事業なども積極的に実施する。

これらの事業実施と、地域のコミュニティ醸成を図るための活動拠点となる集会施設の建て替えは最重要課題となっている。

なお、新たに建設された場合の維持管理については、これまでどおり市から指定管理を受託し、光熱水費等の経費の負担はもとより、地区の元気づくりを目指し施設の有効な利活用を図る。

瀬地区年間活動状況

月	事業名	事業内容	参集人員(人)	備考
4	役員会	事業計画・予算の承認等	10	
5	役員会	月例	10	
	田植え体験講座	地元の子どもたちに田植え作業を体験させることにより、農業に関心を持ってもらうと共に食の大切さを考えながら、地区の親睦を図る。	30	
6	役員会	月例	10	
	部落内一斉清掃	梅雨前に部落内の除草等実施し、区民の交流を深める。	80	
7	役員会	月例	10	
	浜掃除及び海浜レク大会	夏休み前に浜掃除を行い、その後、海辺でレクを楽しむ地区の交流を深める。	80	
8	役員会	月例	10	
	漁業体験	地元の子どもたちに定置網漁の水揚げ作業等を体験させ、また婦人部による調理実習により、地区の交流を深めながら郷土の自然の恵みを体感する。	30	
9	役員会	月例	10	
	敬老会	老人を敬い、合わせて区民の交流を深める。	80	
10	役員会	月例	10	
	ゲートボール大会	ゲートボール大会を実施することにより区民の交流を深める。	80	
11	役員会	月例	10	
	収穫祭	地元の児童・生徒を対象に稲刈り等を体験させ、また、婦人部による新米・椎茸等の調理実習により農業に関心を持ってもらうことで後継者対策を図る。	30	
12	役員会	月例	10	
1	役員会	月例	10	
	駅伝大会	管内駅伝大会に際し、参加児童生徒の功を労うためぜんざい等の炊き出しを実施する。	30	
2	役員会	月例	10	
3	役員会	決算・監査	10	
年間	EM勉強会	EM活性液を活用することにより瀬地区の美しい自然環境を守り生ゴミリサイクル等環境モデル地区を目指す。		